



## TS エージェントによるユーザの制御

次のトピックでは、TS エージェントによりユーザ認識とユーザ制御を実行する方法について説明します。

- [ターミナルサービス \(TS\) エージェントのアイデンティティ ソース \(1 ページ\)](#)
- [TS エージェントのガイドライン \(1 ページ\)](#)
- [TS エージェントのユーザ制御の構成 \(2 ページ\)](#)
- [TS エージェント アイデンティティ ソースのトラブルシューティング \(2 ページ\)](#)
- [TS エージェントの履歴 \(3 ページ\)](#)

### ターミナルサービス (TS) エージェントのアイデンティティ ソース

TS エージェントはパッシブ認証方式で、Firepower システムでサポートされる権限のあるアイデンティティ ソースの 1 つです。Windows Terminal Server が認証を実行し、TS エージェントがスタンドアロンまたはハイアベイラビリティの Firepower Management Center にその認証の実行を報告します。

TS エージェントは、Windows Terminal Server にインストールされると、個々のユーザがモニタ対象ネットワークにログインまたはログアウトする際にそのユーザに固有のポート範囲を割り当てます。Firepower Management Center では、この固有のポートを使用して Firepower システムの個々のユーザを識別します。1 つの TS エージェントを使用して、1 つの Windows Terminal Server 上のユーザ アクティビティをモニタし、暗号化データを Firepower Management Center に送信できます。

TS エージェントは失敗したログイン試行を報告しません。TS エージェントから取得されたデータは、ユーザ認識とユーザ制御に使用できます。

### TS エージェントのガイドライン

TS エージェントには段階的な設定が必要で、次のものがあります。

1. TS エージェントがインストールおよび設定された Windows Terminal Server。
2. サーバがモニタするユーザを対象とする 1 つ以上のアイデンティティ レルム。

TS エージェントは、Microsoft Windows Terminal Server にインストールします。段階的な TS エージェントのインストールと設定、およびサーバと Firepower システムの要件の詳細については、『Cisco Terminal Services (TS) Agent Guide』を参照してください。

TS エージェントのデータは [ユーザ (Users)] テーブル、[ユーザ アクティビティ (User Activity)] テーブル、および [接続イベント (Connection Event)] テーブルに表示され、ユーザ認識とユーザ制御に使用できます。



- (注) TS エージェントが別のパッシブ認証のアイデンティティ ソース (ユーザエージェントまたは ISE/ISE-PIC) と同じユーザをモニタする場合、Firepower Management Center では TS エージェントのデータを優先します。TS エージェントと別のパッシブのアイデンティティ ソースが同じ IP アドレスでアクティビティを報告した場合、TS エージェントのデータだけが Firepower Management Center に記録されます。

## TS エージェントのユーザ制御の構成

TS エージェントをユーザ認識およびユーザ制御のアイデンティティ ソースとして使用するには、『Cisco Terminal Services (TS) Agent Guide』の説明に従って TS エージェント ソフトウェアをインストールして構成してください。

次に行う作業：

- [アイデンティティ ポリシーの作成](#)の説明に従い、アイデンティティ ポリシーを使用して、制御するユーザおよびその他のオプションを指定します。
- [アクセス制御への他のポリシーの関連付け](#)の説明に従って、アイデンティティ ルールをアクセス コントロール ポリシーに関連付けます。このポリシーは、トラフィックをフィルタし、オプションで検査します。
- [設定変更の展開](#)の説明に従って、使用するアイデンティティ ポリシーとアクセス コントロール ポリシーを管理対象デバイスに展開します。
- [ワークフローの使用](#)の説明に従って、ユーザ アクティビティをモニタします。

## TS エージェント アイデンティティ ソースのトラブルシューティング

関連の他のトラブルシューティングについては、[レルムとユーザのダウンロードのトラブルシューティング](#)および[ユーザ制御のトラブルシューティング](#)を参照してください。

TS エージェントと Firepower システムの統合に問題が起こった場合は、次のことを確認してください。

- TS エージェントサーバと Firepower Management Center の時計を同期させる必要があります。
- TS エージェントが別のパッシブ認証 ID ソース（ユーザ エージェントまたは ISE）と同じユーザをモニタしている場合、Firepower Management Center は TS エージェントのデータを優先します。TS エージェントとパッシブ ID ソースが同じ IP アドレスによるアクティビティを報告した場合は、TS エージェントのデータのみが Firepower Management Center に記録されます。
- アクティブ FTP セッションは、イベントの **Unknown** ユーザとして表示されます。これは正常な処理です。アクティブ FTP では、（クライアントではない）サーバが接続を開始し、FTP サーバには関連付けられているユーザ名がないはずだからです。アクティブ FTP の詳細については、[RFC 959](#) を参照してください。

トラブルシューティングのすべての情報は、『*Cisco Terminal Services (TS) Agent Configuration Guide*』を参照してください。

## TS エージェントの履歴

機能	バージョン	詳細
ユーザ制御用の TS エージェント。	6.2.0	<p>導入された機能。FirePOWER が、Citrix の仮想デスクトップインフラストラクチャ（VDI）などの共有環境で個々のユーザをより正確に識別して、ファイアウォールにユーザベースのポリシールールを正確に適用できるようになりました。ユーザは使用されるポートによって識別されます。</p> <p>TS エージェント ソフトウェアは、Firepower Management Center とは独立して更新されます。詳細については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">cisco.com</a> で利用可能な『<i>Cisco Terminal Services (TS) Agent Guide</i>』</li> <li>• 『<i>Cisco Firepower Compatibility Guide</i>』</li> </ul>

